

平成26・27年度 熊本県教育委員会指定
平成26・27年度 公益財団法人熊本県学校給食会委嘱
平成26・27年度 一般財団法人熊本県PTA教育振興財団委嘱

「学校体育」研究推進校研究発表会のご案内

研究主題

「わかる・できる・かかわり合う」児童の育成 ～体づくり運動を通して～

研究紀要

はじめに

毎朝8時、らんらんランニングタイムのスタートです。頬をピンク色に染め子どもたちは教室に戻り、1日が始まります。本校は里山にある全校児童74名の小規模校です。「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現」に向け、本校でどんなことができるのか。「運動の楽しさや喜びを味わわせ、仲間と仲良く運動をし、体力の向上につながる実践力を身に付けさせる」ために具体的に何をしていくのか。全職員で考えた2年間でした。そして「体育科の授業では『体づくり運動』を中心に『わかる・できる・かかわり合う』をキーワードに取り組もう。」「その土台づくりのためには、運動を行う環境づくりや体育的活動の工夫をしよう。家庭や地域も巻き込もう。」と、研究を進めて参りました。

本日ここにささやかではありますが実践の一端を公開し、皆様のご指導、ご助言を賜りたいと存じます。

最後になりましたが、研究にあたりまして、ご指導をいただきました熊本県教育委員会、阿蘇教育事務所、ご助成いただきました公益財団法人熊本県学校給食会、一般財団法人熊本県PTA教育振興財団の皆様にご心から感謝申し上げます。

西原村立河原小学校長 草場 ルミ子



平成 **27**年 **10**月 **27**日(火)

主催 熊本県教育委員会 西原村教育委員会 西原村立河原小学校



西原村立河原小学校

研究主題 「わかる・できる・かかわり合う」児童の育成 ～体づくり運動を通して～

研究主題設定の理由

教育の今日的課題から

- ・運動に親しむ資質や能力の育成が不十分である。
- ・運動する児童とそうでない児童の二極化の傾向が見られる。
- ・児童の体力の低下傾向が依然として深刻な状況である。
- ・人間関係をうまく築けない児童やコミュニケーション能力の低い児童が見られる。

県体育保健課取組の方向から

- ・「豊かなスポーツライフを実現できる児童」を育成する。
- ・「体育、保健の授業の充実」と「教育活動全体を通じての体力の向上」を図る。
- ・「体育指導の手引き」「体力・運動能力向上プログラム」の活用推進を図る。

学校教育目標から

- ・「瞳をあげて学び（かしこく）、たくましく進み（たくましく）、肩組んで生きる（なかよく）子どもを育成する。」の「たくましく」において「進んで運動、体力づくり」を重点努力事項として挙げている。また、経営方針の基盤として開かれた学校づくりを目指している。

児童の実態から

【新体力テストの結果から】（平成26年4月実施）

- 全体として県基準値に届かず、特に柔軟性と巧緻性に課題がみられる。

【児童アンケートの結果から】（平成26年7月実施）

- 運動は楽しいと感じており、運動することも好きである。
- 精一杯運動することはできている。
- 体づくり運動の楽しさがわかり、意欲的に取り組むことができる。
- 運動ができたことで感じる楽しさは個人差が大きい。楽しさを感じていない児童は、「どうやればいいかわからない」、「わからないからできない」、「（だから）体育は、楽しくない」という感想をもっている。
- 体育の授業において、友達とかかわり合う良さをあまり感じていない。

教師の願いから

- ・体づくり運動で、運動の仕方がわかり、運動ができる体験を通して、運動の楽しさを味わわせたい。
- ・体育の授業において、友達とかかわり合う良さを感じさせたい。
- ・体づくり運動の先行事例が少ないため、その指導方法について研究を深め、体育の授業の充実を図りたい。
- ・日常生活で、運動や遊びに偏りが見られるため、家族や地域の人とかかわりながら運動の楽しさを感じさせたい。

このような実態から、体づくり運動を通して「わかる・できる・かかわり合う」体育の授業の充実を図るとともに、日常的に体力向上を図る必要がある。

主題のとらえ方

「わかる」とは

- ・この単元で、この時間に何を学ぶのかが**わかる**
- ・運動の仕方や動きのコツが**わかる**
- ・高学年においては、体力の高め方が**わかる**

「できる」とは

めあてに向かって取り組むことにより、自分の動きや体力を伸ばしたり、その時間に行う動きが**できる**ようになったりしながら、それらが**クリアできる**こと

「かかわり合う」とは

教師のかかわり

児童が**わかる・できる**ための教師の意図的なかかわり（指導）

児童相互のかかわり合い

教師の指導を受け**わかる・できる**ための児童相互のかかわり合い（めあてを達成するためのかかわり合い）

児童相互のあったか言葉による**かかわり合い**

※あったか言葉・・・支持的な言葉、励まし

家庭・地域とのかかわり合い

家庭や地域におけるあったか言葉による**かかわり合い**



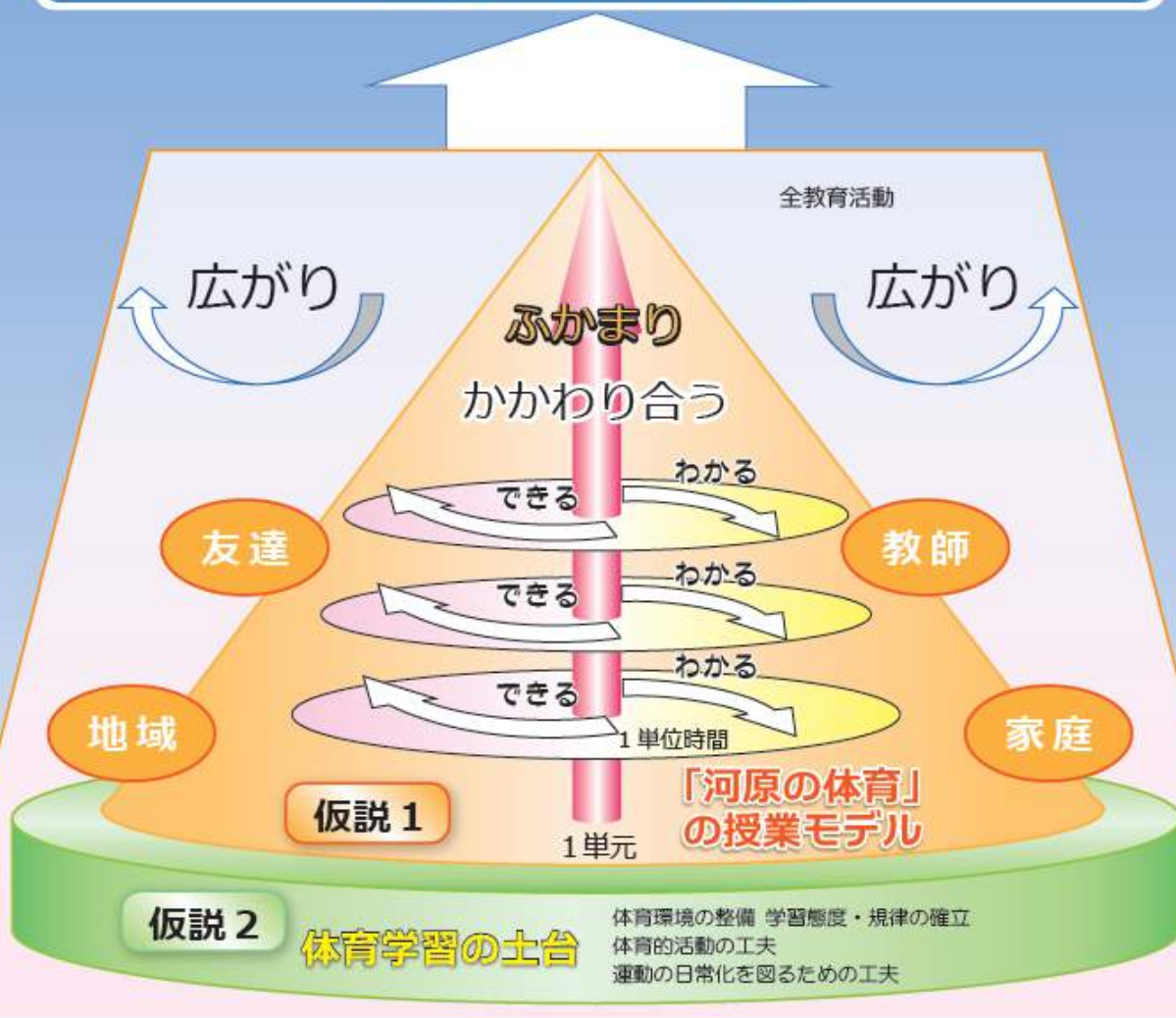
研究構想図

学校教育目標

「瞳をあげて学び（かしこく）、たくましく進み（たくましく）、肩組んで生きる（なかよく）子どもを育成する。」

研究主題

「わかる・できる・かかわり合う」児童の育成
～体づくり運動を通して～



仮説1 「河原の体育」の授業モデルで LET'S TRY!

体づくり運動において、児童に身に付けさせたい力を明確にし、単元計画や学習過程・指導方法の工夫改善をすれば、「わかる・できる・かかわり合う」児童が育つであろう。

視点①：2力年の系統性を意識した単元計画「河原ベーシック」の作成及び指導内容の明確化

視点②：学習過程の明確化

視点③：指導方法の工夫改善

仮説2 体育学習の土台を LET'S CREATE!

児童が意欲的に運動を行う環境づくりや体育的活動の工夫を行うなど体育学習の土台づくりを行えば「わかる・できる・かかわり合う」児童が育つであろう。

視点④：体育環境の整備と学習態度・規律の確立

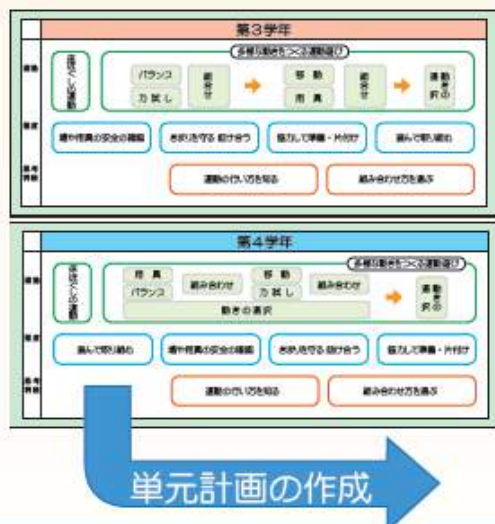
視点⑤：意欲的に運動を行うことができる体育的活動の工夫

視点⑥：家族や地域の人とかかわり合いながら運動の日常化を図るための工夫

「河原の体育」の授業モデルで LET'S TRY!

視点① 2カ年の系統性を意識した単元計画「河原ベーシック」の作成及び指導内容の明確化

体づくり運動において身に付けさせたい力を、「運動」「態度」「思考・判断」の3つの内容で整理し、低・中・高学年の2カ年の系統性を意識した単元計画「河原ベーシック」を作成し、指導内容を明確にした。



単元計画 (指導と評価の計画) 3年1学期 (単元計画を作成する過程)							
	1	2	3	4	5	6	7
ねらい	いろいろな動きから運動の作り方を学ぶ		動きを整理し、自分の運動の作り方を学ぶ		動きを整理し、自分の運動の作り方を学ぶ		動きを整理し、自分の運動の作り方を学ぶ
内容	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
学習活動	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価方法	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価項目	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価基準	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価結果	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価コメント	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価改善	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価まとめ	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価振り返り	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価報告	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎
評価評価	運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎		運動の基礎

視点② 学習過程の明確化

「つかむ・やってみる・ふかめる・まとめる」の学習過程において、児童が「わかる・できる・かかわり合う」ためのポイントを整理した。また、授業では、各過程を「めあて」「チャレンジタイム」「わくわくタイム」「まとめ」と児童に提示し、学習の見通しをもたせ、主体的な学習を促すようにした。

学習過程	わかる・できる・かかわり合うためのポイント	教師の意図的なかかわり	
つかむ めあて	①ウォーミングアップを行う。 ○「体はぐしの運動」の趣旨を生かした運動と本時の主運動に必要な動きを取り入れたウォーミングアップができる。 ②学習課題を焦点化させる。 ○本時のめあてがわかる。 ○自分がわかる・できるために何をやる（発見する・高める）かがわかる。		
やってみる チャレンジタイム 試しの運動・交流	③児童一人一人に運動を十分経験させる ○十分な運動量の運動ができる。 ○動きのコツなどを発見することができる。 ○運動の行い方や安全面などについて声を掛け合い、運動・交流の場面に生かすことができる。 ④思考を深め、広げる場を設ける。 ○動きのコツや工夫したことを発表し、よい動きができるよう交流することができる。 ○見せ合ったり、アドバイスし合ったりしながら運動をすることができる。	(低学年) 指導 ●よい動きを取り上げ交流させる。	(高学年) 指導 ●よい動きを取り上げ交流させる。
ふかめる わくわくタイム 習得・活用の運動	⑤動きを習得したり、高めたりさせる。 ○動きのコツを意識し、動きが習得できるようにする。 ○動きを組み合わせたり、発展的な動きに挑戦したりすることができる。	●よい動きを取り上げ交流させる。	指導 ●適宜、全体または個別に指導する。
まとめる まとめ	⑥学習の内容を振り返らせる。 ○学習カードに自己評価を行い、めあてが達成できたかを振り返ることができる。		

視点③ 指導方法の工夫改善

ア めあてのもたせ方と評価の工夫

○単元計画を掲示し、単元の学習を通して何を目標とするのか、どのような運動をするのかがわかるようにイラストや写真で示し、活動の見通しをもたせる。



○本時のめあて（学習課題）を把握させ、個人のめあて（自分がわかる・できるために何をするか）をもたせる。



○教師は、児童のめあての達成状況を観察し、適宜指導を行うようにする。

○本時のまとめでは、学習カードに記入した個人のめあての達成状況を自己評価させ、友達とのかかわりを通してできるようになったことなどを交流させる。



〇〇さんが教えてくれたように指先で押すと力が入りやすいことがわかりました。

○意欲を継続させるために場や方法のアレンジをする。



動きがイメージできる掲示物の活用



運動のステージにネーミング



人数や姿勢など運動の負荷を変化



運動の得点化



いろいろな相手と対戦できる場の設定



動きを組み合わせたサーキットコース

体ほぐしの運動



友達との交流を中心に、児童にとって楽しい運動を取り上げ、運動の心地よさを体感させる。

イ 活動意欲を高める場の工夫

○体ほぐし運動で取り上げた運動を中心とした主運動につながるウォーミングアップを行う。



○楽しくテンポ良く運動できるように複数の場を設定し場の配置を工夫する。



ウ かかわりを促す「かかわりボード」の活用

○運動のコツをイメージしやすいように擬態語で表す。



○特に大事にしたいことは、児童全員で確認する。



○児童は、かかわりボードの運動のコツを意識しながら活動する。



○かかわりボードに貼ってある運動から動きを選ぶ。



エ かかわる視点をもたせる 動きを見合う場の設定

○動きのコツや工夫したことが具体的にわかるように、全体で動きを見合う場を設定する。



○お互いにかかわり合いながら運動できるように2～3人のグループで補助し合ったり、アドバイスし合ったりする。



○低学年では、全体に対して教師が意図的なかかわりを行い、1単位時間の後半までそのかかわりを継続する。



○高学年では、全体に意図的なかかわりを行った後、わくわくタイムでは適宜個別やグループ別に意図的なかかわりを行う。



オ 動きの視点を捉えたり、かかわりを促したりする発問の工夫

○教師は、児童の動きと児童が見つけた運動のコツを予め把握しておき、他の児童がどのような視点で見ればよいかを分かるよう発問する。このことにより、動きのコツや工夫などについて共有化を図った。

このような教師の意図的なかかわりによって、児童は友達のよい動きを自分の動きに取り入れ、その動きができるようになった。



ボールをどんなふうに上げたら3人とも上手にとることができたのかな？

フワッと投げてサッと体を動かしたら、ボールがとれるようになったよ。

体育学習の土台を LET'S CREATE!

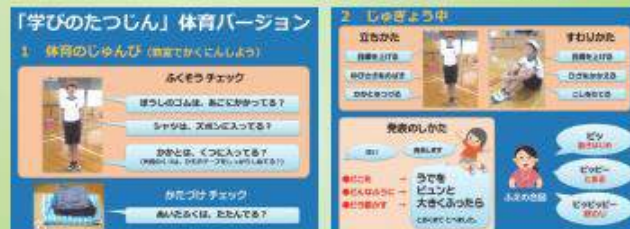
視点④ 体育環境の整備と学習態度・規律の確立

ア パワーアッププログラム



熊本県教育委員会「パワーアッププログラム」を参考にして18種目の運動を選び「河原バージョン」として作成。全校体育の時間に縦割り班活動で取り組んでいる。

イ 「学びのたつじん」 体育バージョン



準備や服装、学習中の約束事を「学びのたつじん」体育バージョンとして決めた。基本的な学習の態度づくりを全校で共通理解し、実践している。

視点⑤ 意欲的に運動を行うことができる体育的活動の工夫

ア らんらんランニングタイム



朝8時から10分間、全校でランニングタイムを設定した。ランニングを始めて、朝から体を動かすことに抵抗がなくなってきた。午前中の学習態度もはつらつとしてきた。

イ 体育集会



進行は体育委員会が行い、縦割り班で「走・投・跳の運動」の体力アップに取り組んでいる。異学年での交流を通してアドバイスをし合うことで、児童は楽しく運動に取り組んでいる。全校で「体力を高めよう!」という意欲が高まってきた。

視点⑥ 家族や地域の人とかかわり合いながら運動の日常化を図るための工夫

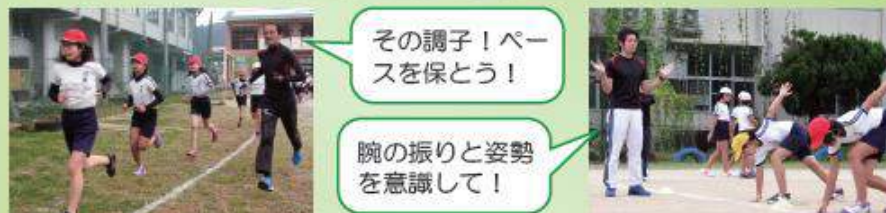
ア 親子エクササイズ



日常の体力向上を図り運動に親しみ楽しさが実感できるようエアロビックの大村詠一さんを招いて、親子でできるエクササイズを実施した。

イ 地域人材の活用

陸上記録会の練習や校内持久走大会などで活用した。児童は、運動の楽しさを味わい、様々な運動の基礎的な技能を身に付けることができた。



給食に提供される地元の食材を見て触って感じる体験を通して、食に対する関心を深めた。(地域食材の活用)

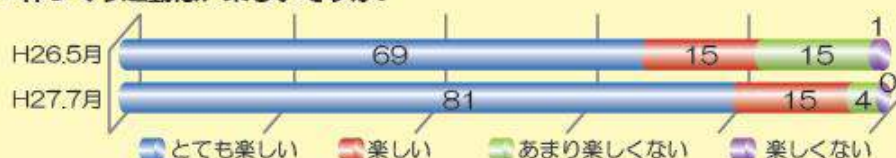


成果と課題

【成果】

- 体づくり運動における「身に付けさせたい力」を明確にしたうえで、単元計画「河原ベーシック」を作成したことで、指導内容を明確にすることができた。
- 「わかる・できる・かかわり合う」ことを意識した「河原の体育」の授業モデルを確立し、授業実践を積み重ねたことで、児童自らが進んで「かかわり合う」姿を多く見るすることができた。また、そうしたかかわり合いを通して、児童一人一人が、動きに関しての「わかる」「できる」をより確かなものにすることができた。
- 体育環境の整備を図ったことで、児童が様々な動きを経験することができた。また、学習規律を確立したことで、児童の動きにめりはりがつき、運動量の確保にもつながった。このことは、体育学習のみならず、他教科等の学習においても、よい影響として表れてきている。
- 保護者から、「家庭で子どもと一緒に運動する機会が増えた」といった声が聞かれるようになってきた。

■体づくり運動は、楽しいですか。



■友達に、「こうしたらもっとよくなるよ」など、声かけをしたことがありますか。



左のグラフから、児童が楽しく体づくり運動に取り組んだことがわかる。研究の大きな成果である。また、友達への具体的な声かけについても、伸びが見られた。このことは、体づくり運動において、児童が多くの場面で「かかわり合う」ことができたと言える。「河原の体育」の授業モデルが確立し、「わかる・できる・かかわり合う」児童の育成につなげることができた。

【課題】

- 「わかる・できる・かかわり合う」ことに関する評価活動の在り方や評価方法の工夫改善が必要である。
- 児童の意識として、授業で学習したことが、休み時間や休日に生かされたり、家庭や地域までの広がりを見せたりすることについては、今後の取組の深化が必要である。

おわりに

平成 26 年度より 2 年間に渡り、熊本県教育委員会の指定、熊本県学校給食会並びに熊本県 P T A 教育振興財団の委嘱により、本校において学校体育についての研究の機会をいただき、心から感謝申し上げます。

研究指定を受け、暗中模索の状態から、関係機関のご指導により、草場校長をリーダーとするチーム河原が一つになって問題解決を図りながら研究を深めてまいりました。しかし、研究も道半ばです。今後も皆様の先進的な実践をもとに、本校の研究へのご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

河原小学校 教頭 新川晃英

研究同人



草場ルミ子	新川晃英	井上みどり	佐藤光彦
石井志保	中川美穂	外山勇	田上邦宏
兼本靖久	浦上英里子	宮脇佐代子	田代貴子
本田涼子	米田みち子	長谷川智香枝	
大島朝夫	岡部朋子	川崎美保	上村健史

河原小学校児童、保護者及び地域のみなさん

参考文献

- ◇小学校学習指導要領解説総則編（文部科学省）
- ◇小学校学習指導要領解説体育編（文部科学省）
- ◇小学校体育実技指導資料（文部科学省）
- ◇小学校体育指導の手引（熊本県教育委員会）



〒861-2404 熊本県阿蘇郡西原村大字河原 976 番地
 TEL 096-279-2506 FAX 096-279-4073
 URL <http://es.higo.ed.jp/kawahara/>
 e-mail: kawahara-es@tsubaki.higo.ed.jp